

建築版	2-1	施工段階 地業・土工事	設備工事： 土間配管	電気	—	設備工事 ポイントシート (2-2)
				空調	○	
				衛生	○	
				その他	—	

排水障害や漏水不具合の発生する可能性があり、品質確保が重要です。特に、土間スラブ下の場合には修繕が困難で、設備と共に管理することが望ましい工事です。

ポイント

■慎重に対応したい土間配管

- ・埋戻し土の締め固めや地盤改良を行う建築の土工事と設備配管埋設のための掘削工事の取り合いが発生します。
- ・埋戻し土が圧密沈下を起こし、埋設配管が下がってしまう恐れがあります。
- ・着工後にスラブの構造形式を変更することは難しく、重要な配管が通る場合にはピット構造にできないか設計段階での検討が必要です。
- ・埋設される配管の防食施工がされているか確認します。

先輩アドバイス

- ・圧力系配管などの埋設される設備配管はできるだけ少なくするよう設備に伝えましょう。
- ・手戻り手直しが困難で施工中の品質管理をしっかり行いましょう。
- ・設備工事、土工事、床躯体工事を連携させましょう。
- ・経年による圧密沈下を考慮し、配管の吊り支持やブラケット支持が確実にこなわれているか確認しましょう。



土間配管検査の例

チェック項目

- 設備と作業手順の確認や工程調整を行いましたか。
- 次の工事を設備担当者に確認しましたか。
 - ・雨水排水工事の工事区分・範囲
 - ・設備配管の継手施工や防食施工
 - ・支持金物の取付位置と間隔
 - ・水圧試験や満水試験（実施の有無）
- 埋戻し前・後の転圧、締め固めは十分に行いましたか。
- 施工の確認を行い、記録（写真）を残せていますか。



満水試験の例

失敗すると...

- ・排水勾配が不足して排水障害を起こす恐れがあります。
- ・数年後に腐食により漏水不具合が発生する恐れがあります。
- ・不具合があった場合、使用中建物の一部を壊して対応することになってしまいます。

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	—	—	○	—	—	—	—	—	○
備考	参考文献：						初版発行	2020年12月	
							改訂		